

# シンビジウム

現 状																						
<p>1. 生産規模</p> <p style="text-align: center;"><b>生産額・面積の推移</b></p> <table border="1"> <caption>農業及び水産業生産額実績</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>面積 (ha)</th> <th>生産額 (億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H6</td> <td>8.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>H11</td> <td>11.5</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>10.0</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>9.5</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6.2</td> <td>4.4</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">農業及び水産業生産額実績</p> <p>・平成26年の作付面積は624a、生産額は4.4億円で、平成26年2月の雪害により、減少している。</p>		年次	面積 (ha)	生産額 (億円)	H6	8.0	6.0	H11	11.5	9.5	H16	10.0	8.5	H21	9.5	8.0	H26	6.2	4.4	<p>2. 生産者の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標高差を活かした夏期山上げ栽培を行い、11～12月に出荷を行っている。</li> <li>・従来の直立仕立てに変わり、仕立て作業に手間がかかるが商品性の高いアーチ仕立てを主流とする生産者が増加している。</li> <li>・作期の短い小型（小輪系）品種を導入する農家も出てきている。</li> </ul> <p>3. 県の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年2月の雪害の復旧に向けて、被災農業者向け経営体育成支援事業等を導入し再建への支援を行った。</li> <li>・県内で実施した現地商談会や県外主要市場における商談会への出展支援を行った。</li> </ul>		
年次	面積 (ha)	生産額 (億円)																				
H6	8.0	6.0																				
H11	11.5	9.5																				
H16	10.0	8.5																				
H21	9.5	8.0																				
H26	6.2	4.4																				
課 題		対 策																				
<p>1【生産】</p> <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃油価格高騰の影響は、花き経営に大きな打撃を与えている。その対策として、ヒートポンプの導入やハウスの多層化等が進められているが、設備投資を要するため、導入は限定されている。そこで、既存施設を活用した燃料費の削減方法のひとつである変温管理技術の確立が求められている。また、温暖化が進む中、夏期の高温対策技術が求められている。</li> </ul> <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場単価が厳しい中でさらなるコスト削減が余儀なくされている。</li> </ul> <p>2【販売】</p> <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需要が低迷する中、消費者から求められるシンビジウムをつくるため、消費動向の情報収集が必要である。</li> </ul> <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者自らが仲卸や専門店等に対し、商品PRを行う販売促進活動を実施する必要がある。</li> </ul>		<p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合農業技術センターの試験研究課題「変温管理による低コスト鉢花栽培技術の確立」(H27～29)で省エネ対策技術の確立を図る。</li> <li>・高温対策技術について、国や関係機関での成果情報の提供や資材等の導入支援を行う。</li> </ul> <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産資材等に関して県内の農家間で情報共有やメーカー等の情報提供などコスト削減に向けた取り組みを支援する。</li> </ul> <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場関係者との懇談会やインフォメーションセンターを利用した消費動向の情報収集を行う。</li> </ul> <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種商談会への出展や商品PRへの支援を行う。</li> </ul>																				
対策に向けたスケジュール	H28	H29	H30	H31																		
1 -	新技術の開発		技術普及																			
-	対策技術の情報提供支援																					
2 -	情報収集支援																					
-	消費動向の収集・商談会等PR支援																					